

会議要旨

【開催概要】

会 議 名 称	令和元年度 第3回富田林市子ども・子育て会議
開 催 日 時	令和元年11月1日(金) 14:30~16:30
開 催 場 所	市役所3階 庁議室
出 席 委 員 (名簿順表記)	<ul style="list-style-type: none"> ・井上美智子委員(会長)・恒川委員・中尾委員(副会長) ・福田委員・松浦委員・横大路委員・杉分委員・奥野委員 ・廣崎委員・山本委員・岡野委員・松田委員・北谷委員 ・北代委員・西田委員 <p style="text-align: right;">(計15名)</p>
欠 席 委 員	・開沼委員・西山委員・井上一世委員
事 務 局	<p>こども未来室：寺元室長(子育て福祉部付部長)、小島課長、辻野課長、森課長代理、佐藤、廣谷</p> <p>教育指導室：山口主幹</p>
会 議 次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 委員委嘱状交付 3. 委員および事務局自己紹介 4. 会長および副会長選出 5. 会議の公開および会議記録の作成について 6. 案件 <ul style="list-style-type: none"> ・「第2期富田林市子ども・子育て支援事業計画」素案について 7. 閉会
公 開 / 非 公 開	公開
傍 聴 者	0人
そ の 他	なし

【議事要旨】

	<p>1. 開会（市長あいさつ）</p> <p>2. 委員委嘱状交付</p> <p>3. 委員および事務局自己紹介</p> <p>4. 会長および副会長選出（井上会長、中尾副会長再任）</p> <p>5. 会議の公開および会議記録の作成について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 配付資料確認 ・ 井上会長挨拶 ・ 会議成立要件の確認（18名中過半数を超える15名出席のため成立） <p>6. 案件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「第2期富田林市子ども・子育て支援事業計画」素案について
(株)ぎょうせい	●資料「第2期富田林市子ども・子育て支援事業計画」素案について説明（説明省略）
会長	◇事務局からの説明内容について、質問や意見がある方はお願いします。
委員	◇素案の内容は、こども未来室と(株)ぎょうせいとの双方の調整により、提示されたものか。
事務局	●その通りです。
委員	◇素案37ページ「小学生児童の放課後健全育成事業の充実」に記載のある「学童クラブと放課後子ども教室の一体的な取り組みなどにより子どもが豊かな経験ができる場づくりを進めます」について、確かに国はこのように求めているが、現在、本市では学童クラブと放課後子ども教室の一体的な取り組みは、以前にこの会議においても「基本されていない」と聞いている。今後本市は、一体化に取り組む予定があるのでこのように記載しているのか。現時点で取り組む計画がないのであれば、この文章では誤解を招かないか。
事務局	●現時点では、学童クラブ事業と放課後子ども教室事業とが、一体的な取り組みを行っていくという計画がある訳ではない。学童クラブを長期休業中のみ利用したいと希望される保護者は多い。今のところ、受け入れ体制は整っていないが、今後、事業展開していくなかで、そのような希望を踏まえて放課後子ども教室との一体化についても検討が必要ではないかと考えている。文章については、再度検討したい。
委員	◇35ページの「就学前児童の「定期的な教育・保育事業」の利用について」に記載のある「幼稚園の再配置、3年保育の実施、預かり時間の延長などを進めていく予定をしています」について、平成22年に策定した富田林市立保育所民営化基本方針は現在も生きているのか。また、計画値について、公

	<p>立・私立含めて記載されているので、どういう風に推移していくのか分からない。市長は幼稚園の再配置を0ベースで見直すとは表明したが、民間保育所の誘致や寺池台保育園が来年、寺池台こども園になるとも聞いている。そのあたりの数値が本計画にどのように含まれているのか分からないと、パブリックコメントを実施しても市民は反応できないのではないかと。幼稚園の再配置計画や、3年保育の実施、一時預かりについて、いつから実施するのか、素案のどこを見れば分かるのか説明をお願いしたい。</p>
事務局	<p>●保育園民営化基本方針は現在も生きている。幼稚園の再配置について、現時点では、再配置計画は0ベースで見直すことになっているので、今回の計画には示すことができない。</p>
委員	<p>◇幼稚園の再配置計画が0ベースで見直すことになったけれども、無償化の対象になっている本市の3歳児が幼稚園に行く場合、公立幼稚園ではなく私立に行かないといけないという形になる。それは市の幼児教育にとってデメリットではないのか。せっかくパブリックコメントを実施するのであるから、本計画に幼稚園についての計画が盛り込まなければ、ニーズ調査に協力してくれた市民に、それらを示すことができず残念で仕方がない。</p>
事務局	<p>●幼稚園の再配置計画が示せて、本計画と連動することができれば良かったが、幼稚園再配置計画は0ベースで見直すことになった。現在、市長は11月より各幼稚園を順次訪問し、まずは市民の声を聴くタウンミーティングに取り組んでいることから、現状では計画に含むことはできないことをご理解いただきたい。</p>
委員	<p>◇民間の保育園を誘致しながら、公立の保育園は民営化基本方針に基づき見直していくのか。</p>
事務局	<p>●民間保育施設の誘致については、令和3年度開設分までの事業費を債務負担行為により予算確保しているため、本計画の確保方策の数値に含めているが、それ以降については未定であるため含めていない。</p>
委員	<p>◇37ページの、「子どもの最善の利益」を尊重した教育・保育・子育て支援の推進」に関連して、本市は不登校の児童が何人いるのか。不登校児を受け入れる受け皿は、本市にどれくらいあるのか。その子どもたちを含めた子育て支援が必要と考えるが、本市の取り組みはどうなっているのか等を教えていただきたい。</p>
事務局	<p>●本日は不登校児に関する資料を持ち合わせていないので正確な数値はお答えできないが、教育指導室では各学校と常に情報共有を行い、毎週集計を取るなど確認している。本市では不登校児のフォローとして、スポーツ公園内に適用指導教室を開設し、学校に登校するための支援を行っている。また、きらめき創造館にステップルームも設置し、各種支援を行っている。</p>
委員	<p>◇本市は、不登校児への対応について、学校に戻すというふうに考えているのか。フリースクールなど学校にあわない児童の受け入れ先もあると思うが、そのあたりはどのように考えているのか。</p>

事務局	●不登校児が全員学校に戻ることが正しい選択であるとは考えていない。集団に入らないことが望ましい児童もいるので、個別に様々な支援を検討しているところである。
委員	◇第1期計画との違いを見ていた中で、本計画の35ページや37ページなどの内容が、57ページ以降に記載しているどの事業に反映されているのかわりにくい。前回は良かったということではないが、もう少し見やすくできないか。
(株)ぎょうせい	●前回の計画がそのようになっているのは承知している。どのように素案を作成しても見やすい、見にくいという問題は発生すると考えている。今回の素案は事務局とも精査しながら、シンプルに作成しお示ししたが、どういう見せ方が良いかは再度事務局と検討する。
委員	◇83ページを拝見すると、今回の会議をもって素案の審議を終了し、パブリックコメントを実施するようだが、今後の予定はどのようになるのか。
事務局	●本日頂いた意見を踏まえ、より読みやすいように修正を行い、会長に確認依頼を行う。その後、修正内容が分かる資料を添えて、修正後の素案を各委員に確認いただき、修正が無ければパブリックコメントを実施したい。
委員	◇74ページの「外国人家庭などへの支援」について、どこかに所属していると支援の手は届くが、夫婦ともに日本語が分からず日本に来て妊娠し、国に帰らず出産する家庭もあると思うが、そういったところへの支援はどうなっているのか。また、LGBTに対する支援は、今後どのように考えていくのか教えてほしい。地域子育て支援拠点施設にも日本語が不自由な方が来られる。その際は、スマートフォンのアプリを活用しコミュニケーションを図っているが、できるだけアプリを使用せずに話すことで、相手を感じる言葉のストレスを軽減できるよう努めている。
事務局	●こども未来室には、保育所利用申請の際、外国人の利用者も来られる。語学的に対応が難しい部分もあるが、できる限り理解してもらえるように対応している。また、妊婦については、妊娠届け出時に「何か困ったことは無いか」という確認をし、必要に応じて市の施策を活用していただけるように案内をしている。
事務局	●LGBT(子ども)への対応について、本市では、幼小中の教職員に対して、LGBTに関する研修を実施している。また、学校現場においては当事者である子どもがLGBTであると認識している・していないに関わらず、いろいろな悩みを持つ児童がいることを前提に対応するよう指導している。また、全員〇〇さんと呼びましょうというところなど、小さいことから様々な取り組みを実施している。また、中学校では性別に関係なく制服を選択できる取り組みを行っている学校もある。
委員	◇小学校は制服の学校もあれば私服の学校もある。制服の小学校に通っていて、スカート履きたくないと言う子どももいる。また、私の知る限りでは、中学生でズボンを選んで履いている女子は見たことがない。2年後ぐらいに

事務局	<p>は制服が変わるらしいという話は聞いているが、もう少し配慮がほしいというのが実際の感想である。</p> <p>●制服を選べる学校もでてきている。実際、小学校現場からも、女子でもズボン登校できるようにというような要望があることも聞いており、各学校とも対応を検討しているところである。</p>
委員	<p>◇LGBTについて、計画に記入できる場所があれば記載をお願いしたい。また、外国人家庭の支援について、各課で対応できることがあれば、計画に記入する方向で検討してほしい。</p>
事務局 委員	<p>●検討したい。</p> <p>◇37ページの「幼児教育・保育の無償化などによる保育ニーズの高まりへの対応」に記載のある、「保育士・教職員などの人材確保や資質向上のための研修などを行っていきます」とあるが、現実には保育士の勤務時間に事務作業の時間や研修の時間は入っていない。保育士が研修に参加するための、代替え保育士の配置も検討してほしいし、事務作業の時間も考えてほしい。そうすると人員確保が必要になるので、人員確保についてもこの計画で触れてほしい。また、今回の計画は人口が減少することを前提に計画しているが、子どもを増やす施策について、計画の中に盛り込めないか。子育てするなら富田林ということであれば、無償化に伴う給食費や、貧困問題についても計画に示してほしい。本計画では書けないかもしれないが、そういった内容も今後の計画に示してほしいと感じた。</p> <p>44、45ページの地域型保育事業について、3号認定（1・2歳児）には数字があるが、0歳児にはない。0歳児の入所は無いということでのよいのか。</p>
事務局	<p>●地域型保育事業は、本市に現在2か所あるが、0歳児の入所は無いということではない。0歳児については、出生数・保育所入所申し込み自体が減少している。現実的な数値として3号認定（1～2歳）で一括して計上していると認識していただきたい。</p> <p>また、保育士の研修等について、具体的にどのように参加していただくかまでをこの計画に含むことは難しい。保育業務にできるだけ負担にならない研修参加について、よい事例があれば参考にさせていただきながら、検討していきたい。</p>
委員	<p>◇本市として、子どもを増やすための施策はこういうふうを考えているということは本計画に記載できないか。</p>
事務局	<p>●本計画は、子ども子育て事業を充実させるためのもので、ニーズ調査の結果を受け、足りない部分から計画的に対応していくものである。本市では、子育て支援を充実させ、転入者を呼び込み、人口流出を少しでも防ぎたいという思いから、様々な事業を展開しているが、計画策定にあたっては、人口動態を基に計画を立案するという原則に基づき、例えば、44・45ページについても、現在の範囲で数値化したものである。施策を充実し人口増加につ</p>

事務局	<p>なげる、子育てを充実していくという方針は変わらないので、そういうニュアンスを理解していただけるような文章をどこかに記入するよう検討する。</p> <p>(以上で質疑終了)</p> <p>●今後、素案を修正し、会長に了承を得て委員に送付。素案に修正が無ければ、12月中旬から1月中旬を目途にパブリックコメントを実施したい。パブリックコメント後、意見を踏まえ、必要があれば修正し、意見に対する市の考え方も提示できる段階で、会議を開催する予定。</p> <p>7. 閉会</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
-----	---